

## 事例18 日本マクドナルド株式会社

### 取組内容

#### ◆実施主体

日本マクドナルド株式会社

#### ◆ねらい

ライフスタイルの多様化に伴い、孤食や偏食、朝食の欠食、肥満、過度なダイエット、生活習慣病など、大人だけではなく、子どもたちへの食育の必要性が高まっています。年間延べ15億人のお客様へ食を提供する企業の責務として、未来を担う子どもたちが、食べることの楽しさを知り、「食を選択する力」を身に付けるきっかけになれば、という思いから、「食育支援プロジェクト」をスタートさせました。

この中で、子どもたちにバランスのよい食生活の重要性をアニメやゲームを使いながら楽しく知ってもらうことを目的に、デジタル教材「食育の時間」を開発しました。特に、最近の子どもたちの間で「早寝早起き朝ごはん」という基本的な食生活の乱れが見られることを受け、「朝ごはんってなぜ大切なの？～早ね早おき朝ごはん」をコンテンツに加え、「なぜ朝ごはんをとらなければならないのか」について科学的な根拠をもとに理解できるようにしました。

#### ◆実施内容

##### ○食育活動の推進

- ・デジタル教材「食育の時間」の開発、  
小・中学校のための食育授業支援等



#### ◆食育活動の推進

##### 【経緯】

子どもたちに、バランスのとれた食事をとることの重要性や、食事を楽しむことの大切さを知ってもらうことを目的に、平成17年デジタル教材「食育の時間」を開発し、インターネット教材としてスタートさせました。平成18年には、インターネット上での配信だけでなく、小・中学校の総合的な学習の時間などで更に活用しやすい教材とすべく、「モデル指導案」を作成しました。平成19年には、NPO法人企業教育研究会と共同で「食育授業支援事務局」

を設置し、教職員の方々から依頼を受けてのデモンストレーション授業の実施や、授業実施に関する質問の受け付け、その他教具の貸し出しなども無償で行っています。



【デジタル教材「食育の時間」の概要】

「食育の時間」は、子どもたちにとって身近で大切な6つのテーマを選び、0～5時間の時間割で構成されています。これらのテーマは、①アニメーション②ゲーム③専門家のお話④ワークシートの4つの内容で構成され、食生活に欠かせないポイントを、子どもたちが興味を持てるようにし、楽しく学べるよう工夫しています。

0時間目コンテンツ「朝ごはんってなぜ大切なの？～早ね早おき朝ごはん～」は、科学的根拠をもとに、朝ごはんの重要性をクイズ形式で楽しく学ぶことができる構成となっており、朝ごはんの不摂取による血液中に含まれるブドウ糖の量やその変化、また体温の変化もグラフによって理解することができるようになっています。

また、子どもたちが規則正しい生活をする助けとなるよう、日々の起床時刻、就寝時刻等を記録するシートも準備しています。

- 0 朝ごはんってなぜ大切なの？  
～早ね早おき朝ごはん～
- 1 好きなものだけ食べちゃいけないの？  
～栄養バランスと栄養素～
- 2 ハンバーガーは何でできているの？  
～食品群とそのはたらき～
- 3 どうしてお腹がへるのかな？  
～基礎代謝ってなに？～
- 4 私たちの食べ物は大丈夫？  
～衛生管理と食の安全～
- 5 みんなで食べるとおいしいね！  
～正しい食生活～



効果・結果

<教員向け研修会の実施と、各学校での教材活用例>

全国で実施される教員研修会において、平成21年度は全国22カ所、976名の教員に対して「食育の時間」を活用したデモンストレーション授業を実施しました。そして、デモンストレーション授業を受講された多くの先生方に各学校でこの教材を活用した授業を実践していただいています。



<岩手県軽米町立笹渡小学校第5～6学年の授業実践例>

朝ごはんを食べないと困る点についてデジタル教材

「食育の時間」の0時間目「朝ごはんってなぜ大切なの？」を使って理解を深め、ブドウ糖がどのようなものであるか、給食を例にとりながら専門的な説明を行いました。

最後に、学んだ内容を振り返り、その内容を下学年に伝えるため、一人ずつ4コマの紙プレゼンにまとめて発表。4コマのキャッチコピーでは、「朝ごはん たくさん食べて 登校だ」「朝ごはん しっかり食べれば 元気な子！！」など、授業にぴったりのキャッチコピーが出来上がり、理解が深まった様子でした。




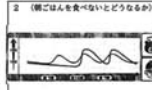

◆詳しく知りたい方は→日本マクドナルド株式会社

TEL：0120-010-916

「食育の時間」ホームページ <http://www.chantotaberu.jp/>

「朝ごはんってなぜ大切なの？」 2

他の学年にもわかるように発表用紙を作ります。今日の学習で学んだことをもとに書きましょう。左が画面に映すもの、右が読む文章です。

1 説明についての設置要領 	1 左の説明（下の学年に発表するよう） 秋葉君は有名なまで「んんん朝ごはんを食べないと困るって、毎日朝ごはんを食べないとどうなるでしょう？」
2 「朝ごはんを食べないとどうなるか」 	2 左の説明（下の学年に発表するよう） 朝ごはんを食べないとエネルギーがなくなるといって、朝ごはんを食べないとどうなるか？
3 理科先生の話からのキーワード ぶどう糖、血糖値、ブドウ糖 	3 左の説明（下の学年に発表するよう） ぶどう糖は、血糖値やエネルギーを上げるために必要で、秋葉君のように「ぶどう糖がなくなると困る。」
4 まとめたキャッチコピー 朝ごはん、しっかり食べて、元気な子！！ 	4 左の説明（下の学年に発表するよう） 秋葉君のように困らないようにするためには、毎日朝ごはんを食べるとか大切なこと。

### ◆クリーンベガルタ

ユアテックスタジアム仙台周辺で、ベガルタ仙台と連携してクラブチームのスタッフや選手、ユース（高校生）、ジュニアユース（中学生）、サッカースクール（小学生）及び一般の方々が参加する朝の清掃活動を行いました。



### ○ユアテックスタジアム仙台での運動の広報活動

ベガルタ仙台の協力でスタジアムのオーロラビジョンでの普及啓発を実施。



### ◆学校訪問による生活習慣づくりの普及啓発

県内幼稚園・小・中学校を訪問し、「早寝早起き朝ごはん」の普及を行いました。

幼稚園では、ベガルタ仙台のマスコットキャラクター「ベガッ太君」と早寝早起き朝ごはん体操を行ないました。

小学校では、ベガルタ仙台のコーチがスポーツが出来る体作りには、早寝早起き朝ごはんが大事と話しました。

中学校では、いい朝みやぎの事務局が文部科学省の資料を基に生活習慣の大切さを話し、その後ベガルタ仙台のトレーナーにより全校生徒に体を伸ばす体操やスポーツシューズの選び方などを話しました。また、普及イベントにおいて中学生の職場訪問を行ないました。





#### ◆普及啓発活動

ユアテックスタジアム仙台で行われたJリーグサッカー試合において、観戦に来た子どもとその保護者を対象に「子どもの生活習慣づくりのための全国的な普及啓発事業」の一環である「早寝早起き朝ごはん」キャラバン隊と連携した活動を実施しました。

ボランティアスタッフと共に来場者にチラシを配布し、また子ども連れの家族には早寝早起き朝ごはんに取り組む意志を表す「早寝早起き朝ごはんチャレンジ隊」隊員カードの配布を行いました。ブース前では、パネル展示を案内するなどして普及啓発に努めました。

試合前のピッチでは、ガチャピンとムックが子ども達を交えて体操を披露しました。集まった子どもと一緒にメインスタンド前のピッチ上で10分程度の体操を中心に普及啓発活動を展開しました。

また、当団体顧問である村井宮城県知事からも観衆に向けて「早寝早起き朝ごはん」の大切さをPRしました。

#### 効果・結果

キャラバン隊ブースにガチャピンとムックを登場させることで、身近なキャラクターを通じて、子どもだけでなく、その保護者に対しても「早寝早起き朝ごはん」の重要性を直接理解してもらう機会を作ることができました。



◆詳しく知りたい方は→株式会社ベガルタ仙台

TEL : 022-216-1011 FAX : 022-216-1011

HP : <http://www.vegalta.co.jp/index.html>

## 事例20 ジェフユナイテッド市原・千葉、オービックシーガールズ サッカー&フラッグフットボール教室

### 取組内容

#### ◆実施主体

ジェフユナイテッド市原・千葉（Jリーグクラブチーム）、  
オービックシーガールズ サッカー&フラッグフットボール教室

#### ◆実施年度

平成21年度

#### ◆ねらい

「子どもの生活習慣づくりのための全国的な普及啓発事業」の一環である「早寝早起き朝ごはん」キャラバン隊との連携による生活習慣づくりの普及啓発を実施。

#### ◆実施内容

・普及啓発活動

フクダ電子スクエア(千葉市)で行われたジェフユナイテッド市原・千葉、オービックシーガールズ サッカー&フラッグフットボール教室において、小学児童とその保護者を対象にキャラバン隊と連携した活動を実施しました。

#### ◆普及啓発活動

ジェフユナイテッド市原・千葉の選手とともに行われたサッカー練習後、休憩時間にキャラバン隊による活動として参加した子どもたち全員に対し、5枚のパネルを1枚ずつ説明する形で実施しました。

#### 効果・結果

複数回のキャラクターの登場やパネル説明によるコミュニケーションにより、キャラバン隊活動の最後に行った「早寝早起き朝ごはん」チャレンジ隊隊員カード配布時にはキャラクターの名前を口にする子どもも多く見られました。

パネル説明時には紙芝居のような見せ方を意識して児童とキャラバン隊との距離を縮めることに努めましたが、予想以上に設問に対して積極的に手を挙げる児童が多く、キャラバン隊を身近に感じてもらえました。

また、保護者と一緒にいる小さい子どもたちにも握手や写真撮影を求められる場面も頻繁にあり、サッカー教室参加者以外にも広く活動を認知してもらう機会になりました。



～担当者からの声～  
取組を実施して

ジェフユナイテッド市原・千葉 ホームタウン担当

保護者に対してのアプローチをもっとできたら良かったと思います。

◆詳しく知りたい方は→株式会社 ジェフユナイテッド株式会社

TEL : 043-305-1500 HP : <http://www.so-net.ne.jp/JEFUNITED/>

## 事例 2 1 大分トリニータ

### 取組内容

#### ◆実施主体

大分トリニータ（Jリーグクラブチーム）

#### ◆ねらい

##### ○活動理念

- 1 スポーツを通じた地域貢献・スポーツの普及
- 2 世界に通用するクラブづくり
- 3 夢は必ずかなう、そして夢への挑戦

地域に親しまれるプロサッカーチームのブランドとノウハウを有効に活用しながら、子どもたちにスポーツをする機会と食事の重要性を提供し、健全な育成と人間形成への寄与を視野に入れていきたいと考え実施。

#### ◆実施内容

- 運動プロジェクト
- 交流給食

### ◆運動プロジェクト

申請があった小学校に対して、夏休みの早朝に各小学校へトリニータのスタッフが出向き、子どもたちに運動する楽しさを伝えました。運動後は、子どもの健全な育成を図ると同時に、生活リズムの向上に寄与するため、栄養補充として牛乳を配布しました。

#### 効果・結果

最も生活習慣が変化しやすい夏休みの早朝に、子どもの規則正しい生活リズムの向上を目的とした運動プロジェクトを行うことにより、自発的に子どもたちが早く起きる環境を創出しました。



○スケジュール

8:30	運動の時間 ※いろいろな道具を使ってのボール遊びやグループでの運動
9:00	ニータンの触れ合い ※トリニータのチームマスコット「ニータン」との触れ合い
9:20	エンディング&記念撮影

◆交流給食

毎月、食育の日に大分市と共に、大分市内の小学校の給食時間に選手が訪問しました。選手の口から食事の重要さや規則正しい生活を送る重要性を伝えてもらいました。

効果・結果

憧れのJリーガーから直接聞く話は、子どもたちの心へ届きやすく、子どもはすぐに真似、実行します。選手から子どもへの自発的な行動の働きかけは大きな効果が期待でき、Jリーガーが与える影響は絶大だと考えられます。



○スケジュール

12:00	学校訪問
12:20	クラスの交流給食 ※好き嫌いをしないことや、三食しっかりご飯を食べることについて話しながら子どもたちと共に給食を食べる。
13:00	交流会 ※子どもたちとの対話を大事にし、質疑応答などでコミュニケーションを図る。最後に、選手の口から食事の大切さや規則正しい生活を送ることを早寝早起き朝ごはんのフレーズが入ったコメントで子どもたちへ伝える。
13:50	記念撮影

~担当者からの声~  
取組を実施して

(株)大分フットボールクラブ ホームタウン課 豊東 和夫さん

実施にあたり、当日の映像や新聞記事にあまり多く報道されませんでした。より多くのメディアへ事前報告をして、大分県でのニュースにもっと取り上げて頂けるように工夫すれば良かったと思います。

また、今回はクラス一組の子供達が選手との触れ合いの対象となっており、学校全体や、学年ごとでも実施ができるように工夫したいと考えます。

今後はこのような活動がリレー方式で行なえればと願っています。

◆詳しく知りたい方は→株式会社大分フットボールクラブ

TEL : 097-554-2250 FAX : 097-554-2280

HP : [http://www.oita-trinita.co.jp/2009\\_index.html](http://www.oita-trinita.co.jp/2009_index.html)